

新入職員のご案内

10月から12月までに入職した職員をご紹介します。
みなさまに親しまれるよう、笑顔をやさしく仕事に励みます!!
困ったことがありましたら、お声かけ下さい。



秋山 享子
病棟看護師



頑張りますので宜しくお願いします!!

小野 沙織
病棟看護師



またよろしくお祈りします。

藤原 真弓
外来看護師



この度寿康会病院外来でお仕事させて頂く事になりました。
60歳になり初めての電子カルテということで、不安と緊張ですが、早く慣れます様に頑張りますので何卒宜しくお願い致します。

藤崎 伸子
作業療法士



12月1日に入職しました。
少しでも早く仕事に慣れるよう頑張ります。
宜しくお願いします。

【医療法人財団 寿康会】

寿康会病院
〒136-0073 東京都江東区北砂2-1-22
TEL: 03-3645-9151 (代表)
TEL: 03-5634-4894 (外来予約)

寿康会診療所 健診センター・クリニック
〒136-0076 東京都江東区南砂7-13-5
TEL: 03-3615-3010 (診療所)
TEL: 03-3615-3020 (健診センター)

亀戸訪問看護ステーション
さざんか居宅介護支援事業所
〒136-0071 東京都江東区亀戸6-16-7 5F
TEL: 03-5627-5080

亀戸長寿サポートセンター
(さざんか地域包括支援センター)
〒136-0071 東京都江東区亀戸6-16-7 1F
TEL: 03-5609-5561

寿康会広報委員会 〒136-0073 東京都江東区北砂 2-1-22
TEL: 03-3645-9151 (代表) E-MAIL: jukoukai@jukoukai.or.jp
J-TIMESの感想や今後取り上げてほしい項目等がありましたらご連絡下さい。

J-TIMES

冬号
2016年1月4日発行

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
平成28年が幕を開けました。本年はどのような年になるのでしょうか。
日本は景気が良いのか悪いのか、よく解らないですね。
ただ、高齢化が進行していることは間違いないようです。
そのため、医療や介護、年金を含めた社会保障費は徐々に抑制されており、厳しい状況となっています。
私たち医療法人財団寿康会は、50年以上の歴史の中で、寿康会病院、診療所・検診センター、訪問看護ステーション、長寿サポートセンターなどを運営してきました。
お陰様で、多くの患者様やご家族にご利用いただいております。
今後も、地域に根ざした、そして信頼して頂ける医療を目指して努力して行く所存です。
また、近隣の診療所や病院、介護保健施設とも、十分に連携してまいります。

新たな年を迎えるにあたり、皆様のご健康に少しでもお役立てるよう、職員一同気持ちを引き締めて診療にあたりたいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます。

医療法人財団寿康会 理事長 猪口雄二

今年もインフルエンザの季節がやってきました!!

風邪なのかインフルエンザなのかかわからなくて、受診に迷ってしまう時ありますよね。一般的な症状の違いをまとめたので、参考にしてください。

	インフルエンザ	かぜ
発病	急激	ゆるやか
症状の出方	全身症状 (だるさ・筋肉痛・頭痛・関節痛)	のどや鼻など (くしゃみ・のどの痛み・鼻水・鼻づまり)
悪寒	強い	軽い
発熱	38度以上の高熱	37度～38度
全身の痛み	強い	軽い
鼻・のど	全身症状のあとから出る	ひきはじめに出る
合併症	気管支炎・肺炎	少ない・中耳炎・副鼻腔炎
重病感	あり	なし
経過	一般的に短い	短い長引くこともある
発生状況	流行性	散発性



KID'S J-TIMES

J-TIMES 小児科版を発行しています。季節ごとにかかりやすい病気のことや、対処方法などお子さまの健康管理に役立つ情報を掲載しています。
小児科待合で配布していますので、是非持ち帰り下さい!!

急な病氣やけが!!
病院を受診するか、
救急車を呼ぶか迷ったら...



悩むことありますよね。
こんな時には、ためらわずに
救急車を呼んで下さい!!

頭

- ・突然の激しい頭痛
- ・突然の高熱
- ・支えないで立てられない

胸や背中

- ・突然の激痛
- ・急な息切れ・呼吸困難
- ・胸の中央がしめつけられるような、圧迫されるような痛みが2～3分
- ・痛む場所が移動する

腹

- ・突然の激しい腹痛
- ・持続する激しい腹痛
- ・吐血や下血がある

顔

- ・顔半分が動きにくい
あるいはしびれる
- ・にっこり笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ・ろれつがまわらない、うまく話せない
- ・視野がかける
- ・物が突然二重に見える
- ・顔色が明らかに悪い

手・足

- ・突然のしびれ
- ・突然片方の腕や足に力が入らない

< 意識の障害 >

- ・意識がない (返事がない)
- ・またはもうろうとしている
- ・ぐったりしている

< けいれん >

- ・けいれんが止まらない
- ・けいれんが止まっても意識が戻らない

< 吐き気 >

- ・冷や汗を伴うような強い吐き気

< 飲み込み >

- ・食べ物やのどにつまらせて呼吸が苦しい
- ・変なものを飲み込んで意識がない

< けが、やけど >

- ・大量の出血をともなう外傷
- ・広範囲のやけど

判断に迷ったら!!
救急相談センター
#7119
または
03-3312-2323

大腸がん検診について

大腸がんは日本人に増えているがんで、その発症数はがんの中で男性の4位、女性の2位といわれています。
早期で見つければ90%以上が完治可能ですが、早期がんではほとんど症状がありません。

症状のない早期の段階で「がん」や「がんの疑い」のある人を見つけることが、大腸がん健診の目的です。
大腸がんの検診は平成28年3月31日現在年齢が40歳以上の区民に対して行われる便潜血検査、便ヘモグロビン精密測定法(定量法)により行われます。
便の表面を専用容器のスティックでこすり取り、便に混じった血液の有無を調べます。
大腸がん検診で陽性になる確率は年齢とともに高くなりますが、平均すると7～8%です。
2日間検査を実施することにより、進行がんの約95%、早期がんの約50%が陽性になります。
1日でも陽性になれば、精密検査の対象となります。精密検査は主に大腸内視鏡検査(肛門からカメラを挿入して大腸全体の内部を調べる検査)を行います。
なお、精密検査は有料(保険診療)となります。
陽性の場合、「がん」がある可能性は4～5%、ポリープがある可能性は30～40%です。
全く異常のない場合も40%あります。
「がん」があっても陰性になることもあります。

今年度の検査実施受付期間は 平成28年2月20日まで
となっています。★20日までに(便・2日間)を持ってきてください!!

今回の検査が陰性であっても、年1回の検診は受けるようにしましょう。



江東区の区健康診査をまだ受診されてない方

☆実施期間

平成28年2月20日

お持ちいただくもの

- ◆ご自宅に区から郵送された書類一式(質問票は、ご記入してお持ちください)
- ◆健康保険証
- ◆診察券(当院の診察券をお持ちの方)

※乳がん検診をご希望の方は、寿康会診療所健診センター・クリニック(南砂)で受付しております。【完全予約制】 TEL:03-3615-3020

お早めに!!



医療事故調査制度について(平成27年10月1日施行)

平成27年10月1日から医療事故調査制度が施行されました。
医療事故調査制度とは、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、その調査報告を民間の第三者機関(医療事故調査・支援センター)が収集・分析することで再発防止につなげるための医療事故に係る調査の仕組みのことです。

医療事故調査制度の目的は、医療法の「第3章 医療の安全の確保」に位置づけられているとおり、医療の安全を確保するために、医療事故の再発防止を行うことです。
当院では、医療安全対策委員会を中心に、医療安全に務めておりますが、医療事故が発生した場合には制度に従い適切に対応する体制を整えております。

医療事故調査・支援センター相談専用ダイヤル: 03-3434-1110

患者サービス向上委員会より

当院ではご意見箱を設置し、みなさまからのご意見を頂いております。
より良い病院づくりに努めて行くため、お気づきの点がございましたら、遠慮なく「ご意見カード」にご記入いただき、ご投函下さい。
ご意見箱は

- 1階 外来待合掲示板前・自動販売機前
- 3・4・5階 デイルーム

にございます。



意見箱